

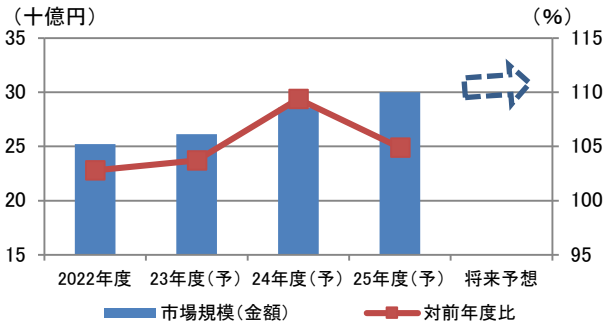
業界アウトライン

・国内における 65 歳以上人口は、2022 年で 3,624 万人となり、全人口の 29.0% を占めるまでに拡大している。また、2022 年 12 月時点での要介護認定者数は、約 697 万人で、高齢者の増加に伴い、介護保険制度の適用者も増加傾向にある。

注目市場

介護システム市場

介護システム市場 市場規模推移



※出典 矢野経済研究所

■市場環境

・2023 年度の介護システム市場規模は、261 億 41 百万円 (対前年度比 103.7%) と見込まれる。
 ・同市場はリプレイスが中心で、新規施設・事業所の開設や M&A などによる経営法人の変更などから、ベンダー切り替え・新規導入が行われる。
 ・一方、介護事業者は、物価高や人材不足などから厳しい経営状況にあり、2024 年度に介護報酬改定もあるため、システム導入の先送りが予想される。

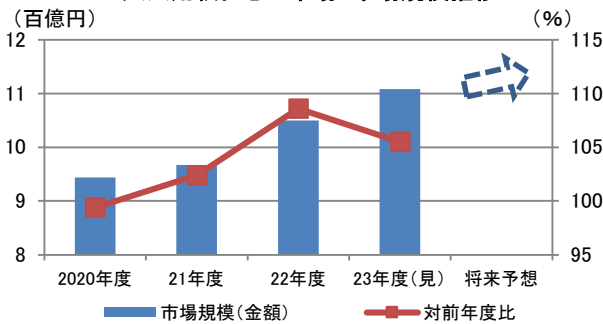
■業界動向／事業者動向

・介護システムの機能自体は既に成熟しており、事業者間での差別化が難しいため、介護事業者の経営を支援する仕組みや、介護スタッフの生産性向上を支援するツール、バックオフィスシステム等のサービス提供、他システムとの連携など、介護事業者のサポート機能を充実させる取組みがみられる。
 ・同市場では、今後も介護事業者の統廃合の増加が予想され、また、政府が人材確保や社会福祉法人の経営基盤強化等を目的に、社会福祉連携推進法人の立ち上げを支援しているため、介護事業者の連携や統合時に業務の生産性向上とコスト削減の観点から、利用システムのベンダー統一が進むとみられる。

注目市場

大人用紙おむつ市場

大人用紙おむつ市場 市場規模推移



※出典 矢野経済研究所

■市場環境

・2023 年度の大人用紙おむつ市場規模は、1,108 億円 (対前年度比 105.5%) と見込まれる。
 ・大人用紙おむつは、体が不自由で寝たきりの高齢者を中心に自己排泄が困難な生活者を対象に、排泄ケアの負担軽減に繋がるサニタリー用品になる。
 ・2023 年時点 65 歳以上の高齢者人口比率は 30% 目前に迫っており、過去最高を更新している。同市場は、使用対象者の増加に伴い、成長を続けている。

■業界動向／事業者動向

・同市場では、高齢者人口の増加が続くなか、医療制度や社会保障制度改革による在院日数の短縮や在宅医療の推進、在病床数の削減などを受けて、施設から在宅での介護や地域密着サービスにシフトしていることから、排泄介護における大人用紙おむつの需要は、今後も拡大することが見込まれる。
 ・一方、身体的な問題が少ないアクティブシニア層のみならず、紙おむつ着用に抵抗を感じる高齢者層も少なくないため、事業者においては、日常の排泄用品としての社会的認知を高め、利用を誘うプロモーションがより活発化するほか、要介護者ニーズを取り入れたラインアップ拡充が進むとみられる。